

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600362
法人名	社会福祉法人 回生会
事業所名	グループホーム 福寿
所在地	愛媛県西条市飯岡3381番地の1
自己評価作成日	平成21年11月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年12月10日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・同一敷地内に病院、老健、特養、ユニット特養、デイサービス、ケアハウス等が併設され、日頃から連携が取れている。また、田園地帯にあり、緑と自然に恵まれた環境の中で、ゆったりと時間が流れている。  
 ・法人全体として「音楽療法」を奨励し、週3回音楽療法士によるプログラムを実践し、好評を得ている。  
 ・「アニマルセラピー」の実践として、トイプードルを飼い、利用者とのふれあいの中で精神的な安定や安らぎの時間の提供に努めている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

管理者は「美化」「衛生」に力を入れておられ、事業所内はきれいに掃除がされていた。居間には利用者と一緒に飾ったクリスマスツリーやリースが飾られていた。廊下の壁には芋ほりの際の写真や、落ち葉拾いに行き行って拾ってきた落ち葉が飾られていた。ソファに座って事業所で飼っているトイプードルをひざに抱き、などでおられる方も見られた。利用者が見やすい目の高さに配慮して、トイレの表示をされていた。  
 和裁のお弟子さんが、年2回ほど訪ねて来てくれるような方もある。利用者の知り合いの方が尋ねて来られた時には、お茶をお出しして、時にはホームでのご本人の暮らしの様子を伝えることもある。遠くに住まわれている娘さんからのお手紙に返事を出す際には、職員が宛名書き等、サポートをされている。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 社会福祉法人 回生会

(ユニット名) グループホーム 福寿

記入者(管理者)

氏名 戸田 幸恵

評価完了日

平成 21 年 11 月 25 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	<p>理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者一人ひとりが、自分らしく安らぎのある生活が続けられることを理念とし、事業所内に掲示して全職員で共有している。(毎月の目標も設定し掲示している。)</p> <p>(外部評価)</p> <p>「利用者一人ひとりのしあわせ、やすらぎづくり」を理念のもと、今月は「お年寄りとの会話の時間を大切に」という月間目標を挙げて取り組まれている。玄関や事務所に理念を掲示されていた。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>併設施設の真ん中に位置しており、日々の交流は難しいが、民生委員やボランティアの訪問、行事を通じての交流などは、積極的に行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>近所にお住まいの民生委員の方が、散歩中に事業所に立ち寄ってくださったり、事業所の畑作りの手伝いをしてくださっている。法人の他施設で行われた劇を見に行かれたり、地域の公民館で行われたミニデイに参加して、地域の方達とともに「口腔ケアについて」のお話を聞かれたこともある。法人主催の「盆踊り大会」では、盆踊りやバザー等、地域の方とともに楽しまれた。</p>	<p>事業所では、保育園児の訪問等、園児との交流や地域の方に来てもらえるような行事の計画等もすすめ、さらに事業所のことを知ってもらいたいと考えておられる。又、法人でも「近所の方が自由に利用できるテニスコートの整備や院内託児所の充実」又、デイサービスの帰り等に寄ってもらったり、パンフレットを配布する等、事業所と地域との関係をさらに深めていけるような取り組みをすすめていきたいと考えておられた。</p>
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事業所として、公民館での健康チェック・音楽療法士によるレクリエーション・栄養士による栄養相談などを実施し、地域との交流を深めるよう取り組んでいる。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>運営推進会議は2ヶ月に1度開催し、利用者の様子や健康状態、事業所の取組みなどについて説明や意見交換を行っている。改善点があれば検討し善処することとしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>会議時、民生委員の方から事業所の行事等、出来ることのお手伝いを申し出ていただいたり、お寺や保育園の行事にも招待していただいた。ご家族の方2名が出席されているが、今後はご家族が順番で出席いただけるよう、案内するように計画されていた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>市役所担当課を訪問したり、電話などで都度、アドバイスを頂いている。また、介護相談連絡会に参加し、意見交換を行っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>運営推進会議時、市の担当者に地域の介護施設の待機者の現状を報告していただいたり、利用者の金銭管理の方法等についてアドバイスをいただいた。介護相談員の訪問が2～3ヶ月に1度あり、「皆の笑顔がいいですね」等感想をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>法人内の研修会や外部研修会に積極的に参加し、理解を深め合うことで、意識の統一を図っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>調査訪問時、玄関に鍵はかけておらず、利用者が外出しようとした時には「一緒に行きますか」と声をかけて一緒に出かけておられた。職員は、外部研修や法人内研修を受講し、身体拘束について勉強されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 法人内の研修会や外部研修会に積極的に参加し、理解を深め合い、日頃から全職員で話し合い防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在必要としていないが、今後機会があれば各種研修会にも参加したい。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時や解約時は、ご家族等に文書や口頭で説明を十分に行い、疑問点や不安点を解消するように努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者との会話を通じて意見・不満・苦情を聞きだしたり、運営推進会議や家族会の実施により、意見要望を抽出し、運営に反映するよう検討している。  (外部評価) 年2回、家族会を開催しており、その後クリスマス会等をされて、ご家族もともに楽しまれている。管理者の交代については、3月の運営推進会議で報告し、5月の運営推進会議時には挨拶をされている。	現在、ご家族の来訪時や年2回開催される家族会等にご意見や要望をお聞きしているが、「感謝している」「入居出来てありがたい」というような感想が多い。今後さらに事業所のケアサービスの質を高めるためにも、事業所のケアサービスについて、具体的な意見を引き出せるよう、取り組みを工夫されてみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>毎月実施している職員会で意見や提案を聞き、運営に反映するよう検討している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>月1回、職員会議を行い、研修受講後の内容の報告等をされている。法人での研修を受けた後、事業所内で再確認の勉強をされている。日々の申し送り時には、パッド等、介護用品の使い方等についても職員で意見を出し合い、検討されている。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>人員の確保により、状況の変化にも対応できるよう整備を行っている。</p>	
13		職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>法人内での研修会への参加はもちろん、外部研修会参加者は報告会で発表したり、職員会で報告している。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>愛媛県グループホーム協議会の研修会に参加し、質の向上を図ると共に、他のグループホーム管理者との交流を図っている。</p>	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>管理者は入居前、本人・ご家族に面接し、利用に至るまでの状況や不安・希望を聞き取り、それらを職員に伝達し、情報を共有している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 管理者は入居前、本人・ご家族に面接し、利用に至るまでの状況や不安・希望を聞き取り、それらを職員に伝達し、情報を共有している。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご家族から相談を受けた時、状況に応じて併施設なども考慮しながら、今必要としている支援が最大限できるように対応している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者一人ひとりのできる事を見つけ、一緒に行いながら、また、得意分野については、職員が利用者に教えてもらっている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の訪問時には健康状態や生活ぶりを伝え、行事などを通じてご家族の参加により、楽しみながら利用者を支えていく関係作りをしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者が生まれ育った場所、生活した場所に出向いたり(ふるさと訪問)、友人やお弟子さんが訪問しやすいような体制作りに取り組んでいる。 (外部評価) 和裁のお弟子さんが、年2回ほど訪ねて来てくれるような方もある。利用者の知り合いの方が尋ねて来られた時には、お茶をお出しして、時にはホームでのご本人の暮らしの様子を伝えることもある。遠くに住まわられている娘さんからのお手紙に返事を出す際には、職員が宛名書き等、サポートをされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係をよく把握する事でトラブルの防止に努めている。職員の声掛けにより利用者が孤立しないように配慮している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後入院した方のお見舞いや、併設施設への入所者にはご家族を含め関係を継続している方が多い。	
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日頃から利用者一人ひとりへの声かけを重視し、会話の中から本人の希望・意向などを把握するように努めている。 (外部評価) 入居時に、利用者の生活歴や暮らし方の希望を聞き取っておられる。日々のかかわりの中で職員は利用者が「したいことはないか」「どんなことが好きか」等についてお聞きしたり、表情や反応を見て、希望や意向の把握に努めている。	事業所では、利用者個々のこれまでのことや現状が分かりやすいような記録も検討されていた。利用者個々のさらなるアセスメントの充実に全職員で取り組み、利用者一人ひとりの思いや意向のさらなる把握に努められ、ご本人らしい暮らしを支援していかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) その人の経験や生活歴・生活環境は本人との会話やご家族からの情報提供により把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ここのケアプラン等により概ね把握している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 全身状態の観察により利用者の状態を見極め、本人・ご家族・医師・その他関係者などの意見を集約しながら介護計画を立案している。	
			(外部評価) 毎月「ケア会議」を行い、職員で介護計画の内容についてモニタリングをされている。又、計画は3カ月ごと評価し、介護計画を見直す時には「担当者会議」に、ご本人やご家族も参加して話し合われている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 記録は忠実に記載し、利用者の現状にあった計画が実施されているかを確認しながら対応し、場合によっては変更する。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 希望があれば併設施設を紹介したり、併設施設の行事に参加したり、本人やご家族の希望に応じる環境づくりをしている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域行事への参加や地域住民の方々の訪問などを通じて生きがいのある生活が送れるよう務めている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 併設病院とは連携が取れており、本人・ご家族が希望 する病院へは紹介状を用意し、適切な医療が受けられ るよう支援している。	
			(外部評価) 利用者やご家族の希望で、現在は全員、母体病院がか かりつけ医になっている。夜間や急変時等、診てもら うことができ、いつでも相談出来るようになってい る。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 併設病院の看護師からは入所者の病状把握により、適 切なアドバイスがあり適切な受診などに効果を上げて いる。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時はご家族とも相談しながら、医師や看護師など と情報を交換し、ご家族の意向を考慮しながら対応し ている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 病状に変化があった場合は、主治医と十分話し合い、 主治医はご家族が納得するまで説明し、関係者全員で 方針を共有するよう務めている。	
			(外部評価) 現在までに看とりの支援の事例はないようであるが、 事業所では、今後「医療行為がなく、ご本人、ご家族 が希望されれば事業所での看取りも考えたい」又「自 宅を希望された場合には、職員が訪問することも考え たい」と話されていた。	
			管理者は「ご本人やご家族の終末期の在り方の希望に ついて記録に留め、思いに沿った支援ができるよう取 り組みたい」と考えておられる。今後、さらにご家族 との話し合いやかかりつけ医との連携、職員の体制作 り等をすすめ、ご本人主体の支援に取り組んで行かれ てほしい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時や事故発生時の対応マニュアルを整備すると共に、救急法研修会への参加や避難訓練の実施により資質向上を図っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 事故発生時の対応マニュアルを整備すると共に、併設施設との緊急時の協力体制の確立をより強固に図っている。 (外部評価) 年に2回、法人施設全体で避難訓練を実施されている。利用者は職員とともに避難場所となっている法人の駐車場まで歩いて出られた。法人で毎月行われている「災害対策委員会」に、職員が1名出席して災害対策について話し合われたり、水害対策のため委員会で土のうを準備された。来年度はスプリンクラーの設置を予定されている。	地域交流担当の方は「地域の方にも参加していただき、事業所独自の訓練を行いたい」と考えておられる。事業所の実状に合わせて避難訓練の取り組みを重ね、さらなる利用者、職員の安心や安全に向けて取り組みをすすめていかれてほしい。
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人情報の取り扱いに関して法人内研修会で周知し対応している。職員会などを通じて自己反省し処遇の向上に勤めている。 (外部評価) 管理者は、職員が大きな声で利用者と話しているような時には「低い声でゆっくりと話しかけるように」職員に伝えておられる。入浴時は、前にタオルを掛ける等、プライバシーに配慮されたり。調査訪問時、職員が利用者の部屋に入室する時には、ノックして返事を待ってから入るようにされていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日頃の会話の中から利用者の思いや希望を聞くことにより、自己決定できる様に務めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースに合わせて、ゆったりと過ごして頂く事を心掛けているものの、時間に追われることもある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 生活暦の把握などにより、個々の状態に合わせたおしゃれづくりを最大限引き出すよう務めている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備や片付けは無理のない程度で行なってもらっている。献立は、併設施設の栄養士が立てているが利用者の好みにより変更する場合もある。	
			(外部評価) 法人施設の栄養士の方が献立を立て、食材も届くようになってきている。事業所で食事作りをされており、利用者はもやしの根取りをしたり、お盆やテーブル拭き等をされていた。お箸を使いにくい方には、つかみやすいようにおにぎりにされていた。又、スプーンも準備されていた。利用者と職員は、同じテーブルでお話をしながら同じものを食べておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の嗜好を把握することにより、1日の摂取量や水分量の確保の目安をつくり対応している。食事量や水分量は毎回記録し、チェックしている。栄養士によりカロリー計算を実施している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後の口腔ケアに重点を置いた取り組みを実践している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 「生活リズムパターンシート」の記録で一人ひとりの排泄のリズムを把握し、声掛けやトイレ誘導を行っている。	
			(外部評価) 一人ひとりの排泄状況を記録してパターンの把握に努めておられる。夜間ポータブルトイレを使用されている方も、昼間はトイレで排泄できるよう誘導されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 高齢者には便秘症の方が多いため、献立には繊維質の多い食物の使用を提言擦る事もある。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 日曜日以外は入浴を行っているが、拒否された場合は無理をしないで翌日入浴としている。	
			(外部評価) 週3回の入浴ができるよう支援されている。湯船に入ることがむづかしい方は、シャワー浴をされている。入浴を嫌がる方には、ご本人の「気分のいいとき」を見計らって職員が声かけされたり、寒い日には、脱衣所を暖かくしてから入浴できるように支援されている。入浴時には歌を歌いながら入られる方もいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中居室で休んでいただいたり、食堂ソファで横になり、くつろいでもらっている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬には日付を必ずいれ、ミスがないように努めている。薬の用法については、病院が発行してくれる説明書により、理解を深めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 朝は一緒に掃除をし、食事の手伝いや洗濯物を干したりたたんだり、畑の作物のお世話やその日と似合った支援に努めている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出の機会を出来るだけ多く持つようにしている。利用者の思い出深い場所へのドライブを実施している。	
			(外部評価) 外出を嫌がる方も、法人の敷地内の散歩や花壇の花を摘みに行かされている。秋には畑の芋ほりや銀杏の葉を収集に行かれることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人のご希望でお金を所持している利用者もいるが、管理が難しい利用者が殆どで、買い物の際は職員が見守りながらご自分で支払いをしてもらっている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話の希望があれば都度対応している。手紙については、ご家族にご協力を得ながら書いてもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節に応じてすだれやカーテンを利用し、花を生けたり行事写真を掲示しながら季節感を味わえるような工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者は「美化」「衛生」に力を入れておられ、事業所内はきれいに掃除がされていた。居間には利用者と一緒に飾ったクリスマスツリーやリースが飾られていた。廊下の壁には芋ほりの際の写真や、落ち葉拾いに行き行って拾って来た落ち葉が飾られていた。ソファに座って事業所で飼っているトイプードルをひざに抱き、なでておられる方も見られた。利用者が見やすい目の高さに配慮してトイレの表示がされていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共有の場所にソファやベンチを設置し、思い思いに時間が過ごせるよう工夫している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族と相談しながら好みの物を持って来ていただくよう依頼している。家族・親類・友人などとの思い出が思い出されるよう写真などを掲示している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>各居室には、ご自分で生けたお花を飾っておられる。ご家族が毛糸で手作りされた手芸品やご本人が色を塗ったカレンダーを飾られていたり、好みの化粧品で毎朝お化粧をされる方もいる。ご家族の来訪時に、ご本人のご自宅から持って来られたアルバムを見ながら、おしゃべりをされるご家族もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>手すりの設置や手作りの案内板の表示、また、自立支援に向けた介護用品の導入などの工夫をしている。</p>	